

# 平成27年度当初予算案

## 元気飛躍予算



平成27年2月3日(火)

# 群馬県

# 平成27年度群馬県当初予算(案)

**総額 7,159億6,600万円 + 5.0%**

平成26年度予算額(6,815億8,700万円)に対し、344億円の増

昨年は、「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録、「ぐんまちゃん」が「ゆるキャラグランプリ」で優勝、東毛広域幹線道路の全線開通など、本県が大きく飛躍した1年であった。

平成27年度は、この勢いを加速させ、県内景気の回復をより確かなものとし、本県がさらに大きくはばたけるよう、『**元気飛躍予算**』を編成  
総合計画『はばたけ群馬プラン』の基本目標を積極的に推進

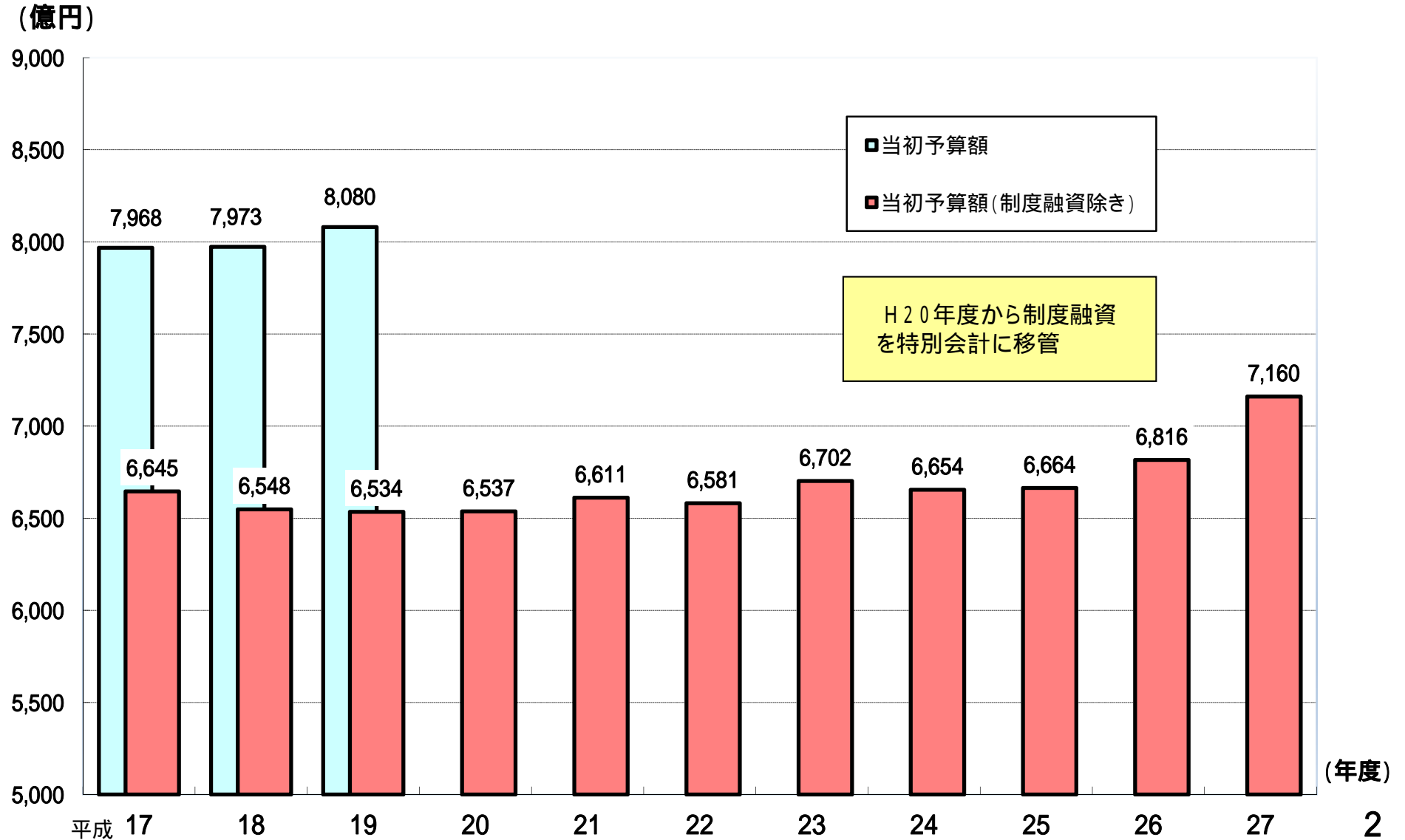
基本  
目標

1 地域を支え、経済・社会活動を支える人づくり

2 誰もが安全で安心できる暮らしづくり

3 産業活力の向上・社会基盤づくり

# 当初予算額の推移

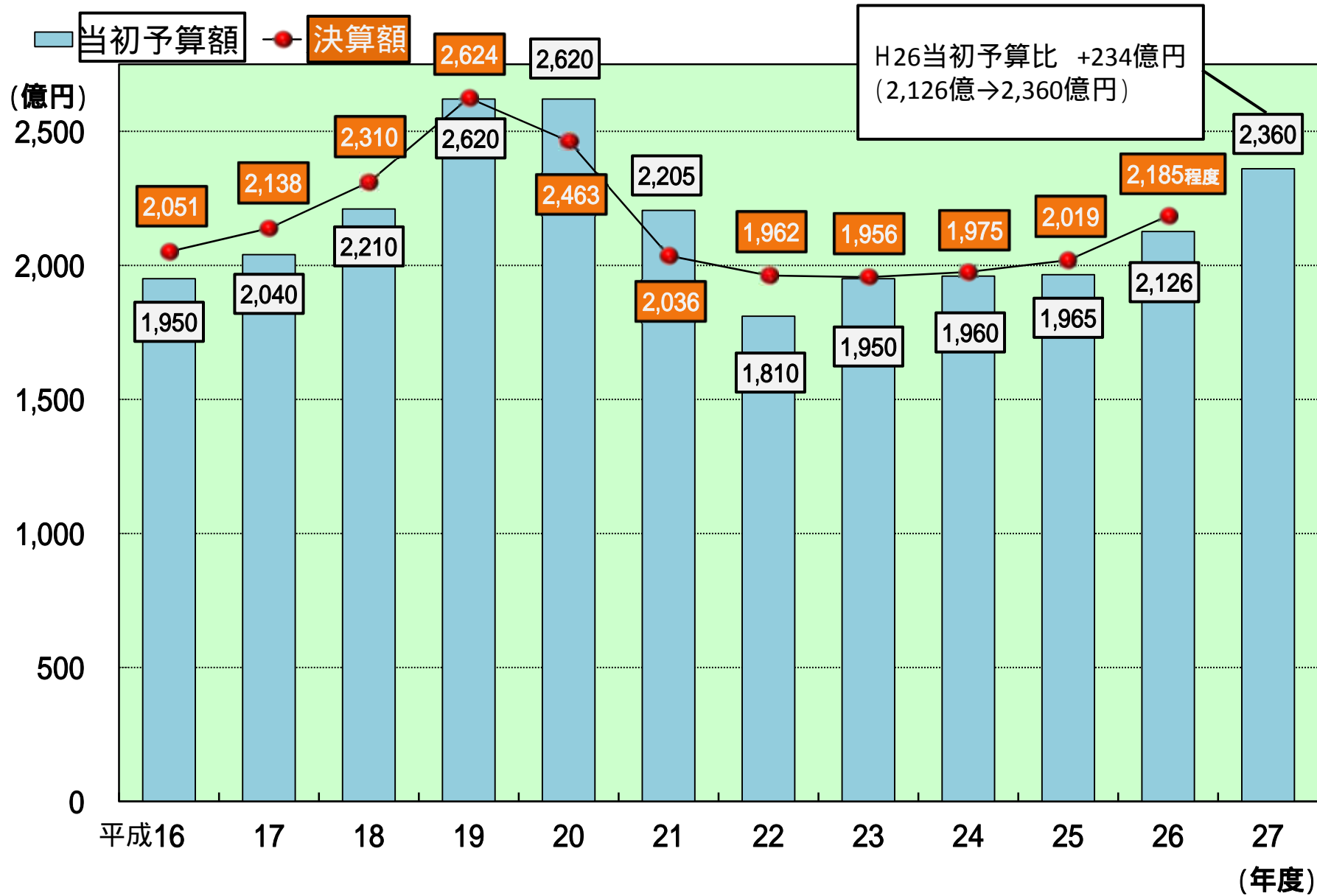


# 群馬県の主な財源の状況

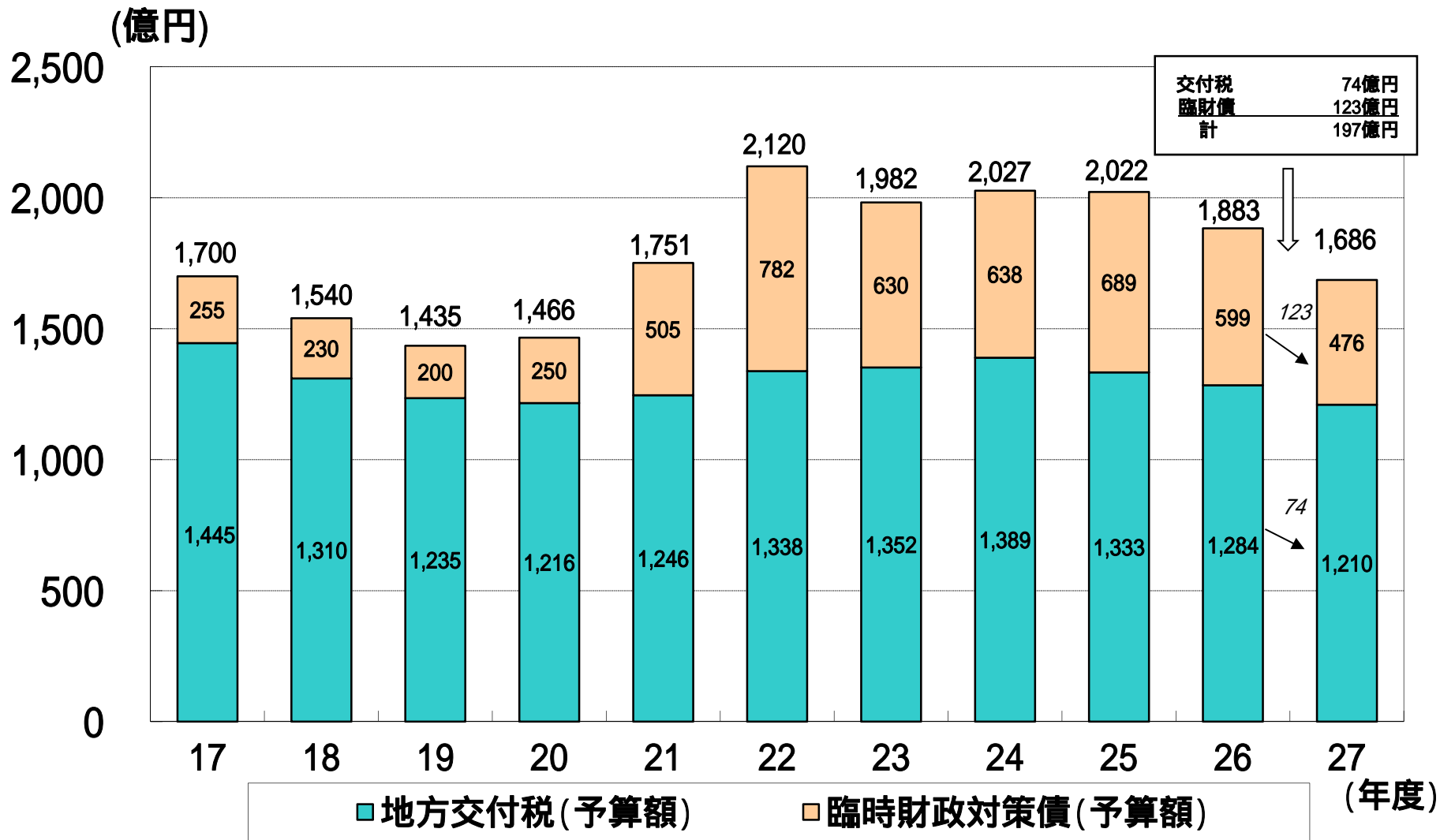
	H25当初	H26当初	対前年度		H27当初	対前年度	
			増減額	増減率		増減額	増減率
県 税	1,965 億円	2,126 億円	+ 161 億円	+ 8.2 %	2,360 億円	+ 234 億円	+ 11.0 %
地方譲与税	282 億円	361 億円	+ 79 億円	+ 28.0 %	352 億円	9 億円	2.5 %
地方交付税	1,333 億円	1,284 億円	49 億円	3.7 %	1,210 億円	74 億円	5.8 %
大雪被害対策分として措置される特別交付税(5.8億円)を含めた額					1,268 億円	16 億円	1.2 %
県 債	1,059 億円	998 億円	61 億円	5.8 %	938 億円	60 億円	6.0 %
うち 臨時財政 対策債	689 億円	599 億円	90 億円	13.1 %	476 億円	123 億円	20.5 %
うち 通常債	370 億円	399 億円	+ 29 億円	+ 7.8 %	462 億円	+ 63 億円	+ 15.8 %
基金繰入金 (財調・減債)	260 億円	210 億円	50 億円	19.2 %	168 億円	42 億円	20.0 %

H26年2月の大雪による被災農業者向け支援事業(パイプハウスの復旧)について、執行時期の関係からH27年度の特別交付税として措置されるもの。

# 県税の推移

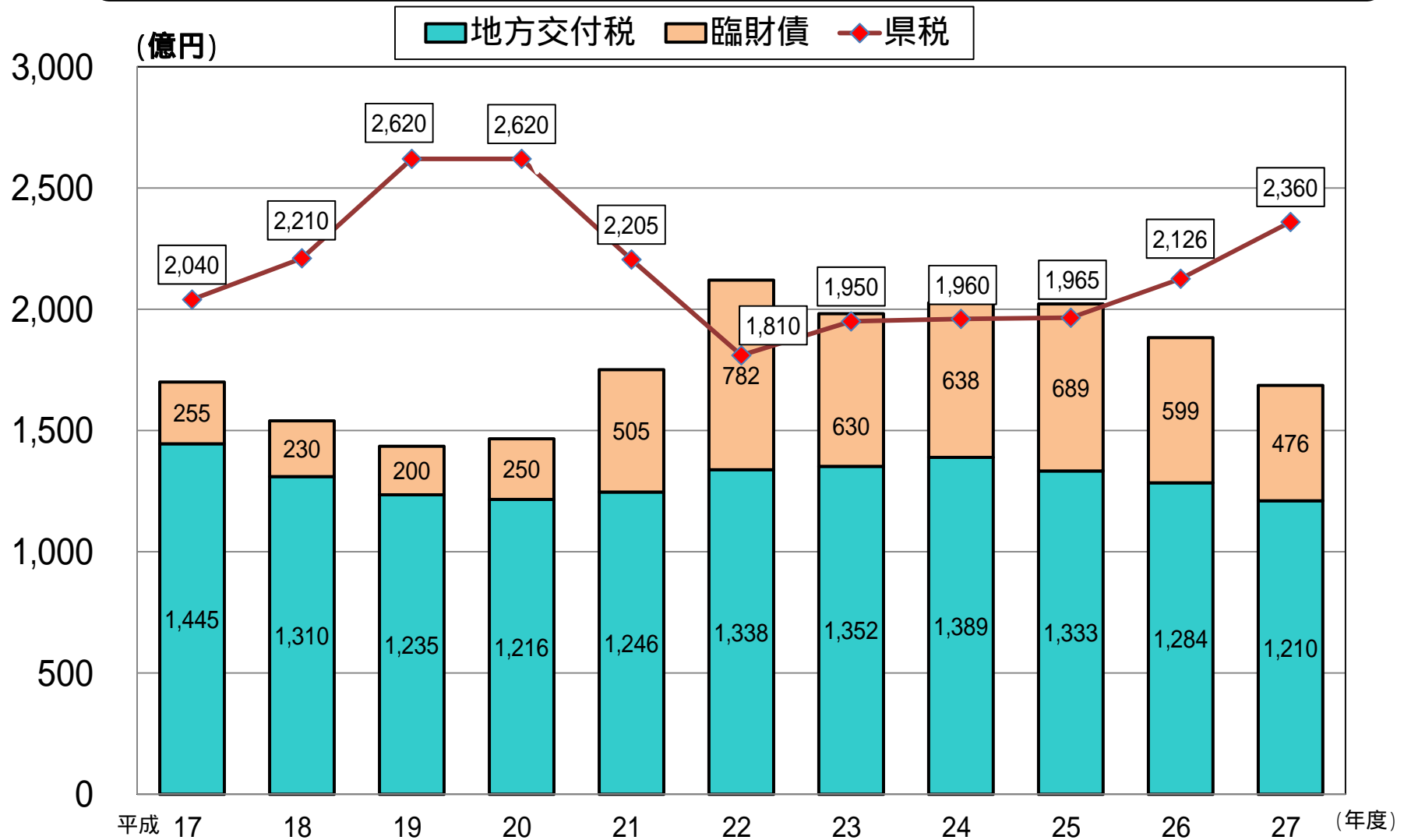


# 地方交付税等の推移



H27年度の地方交付税は、大雪被害対策分の特別交付税(58億円)を除く。

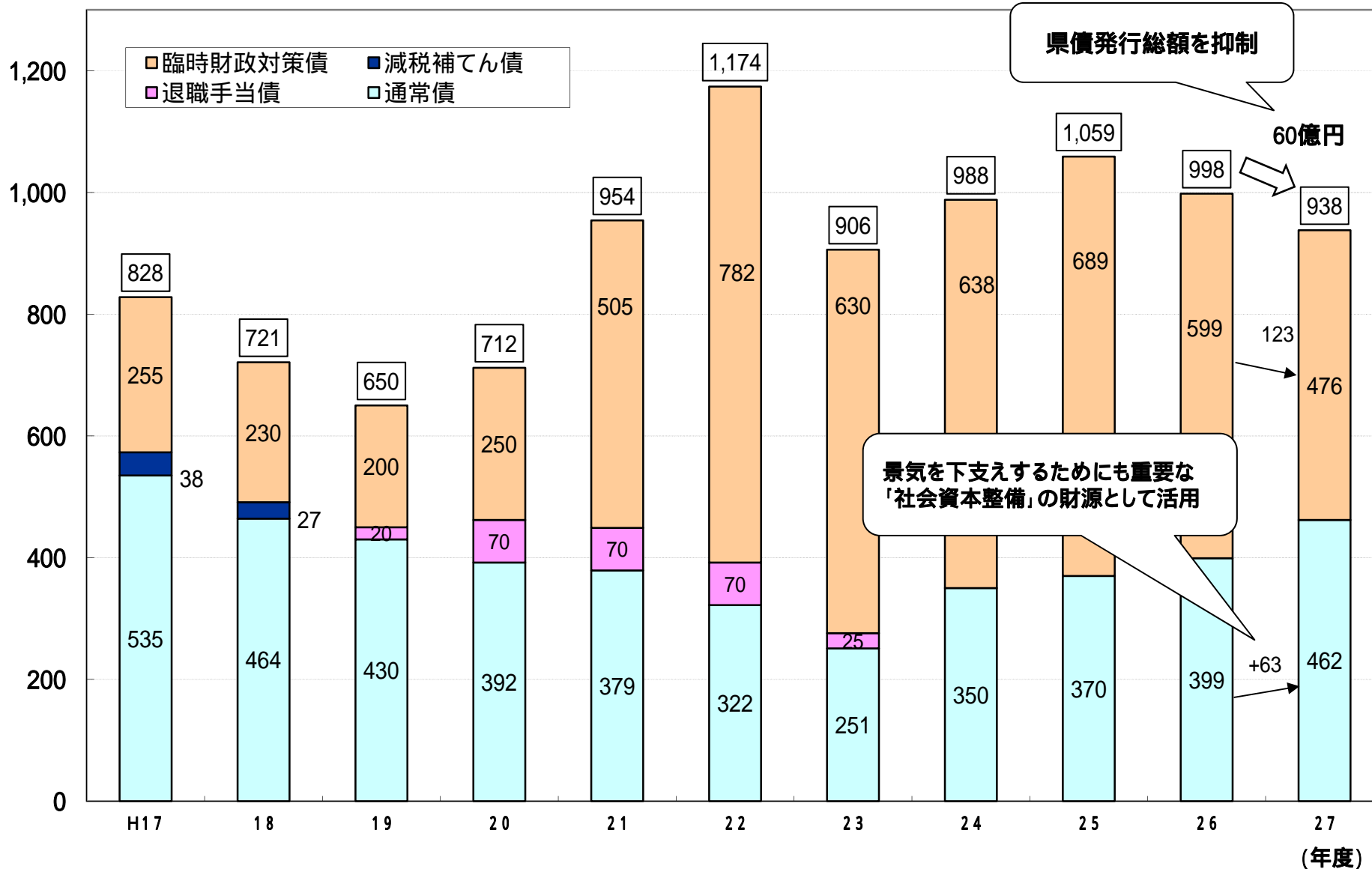
# 県税と地方交付税等の推移



H27年度の地方交付税は、大雪被害対策分の特別交付税(58億円)を除く。

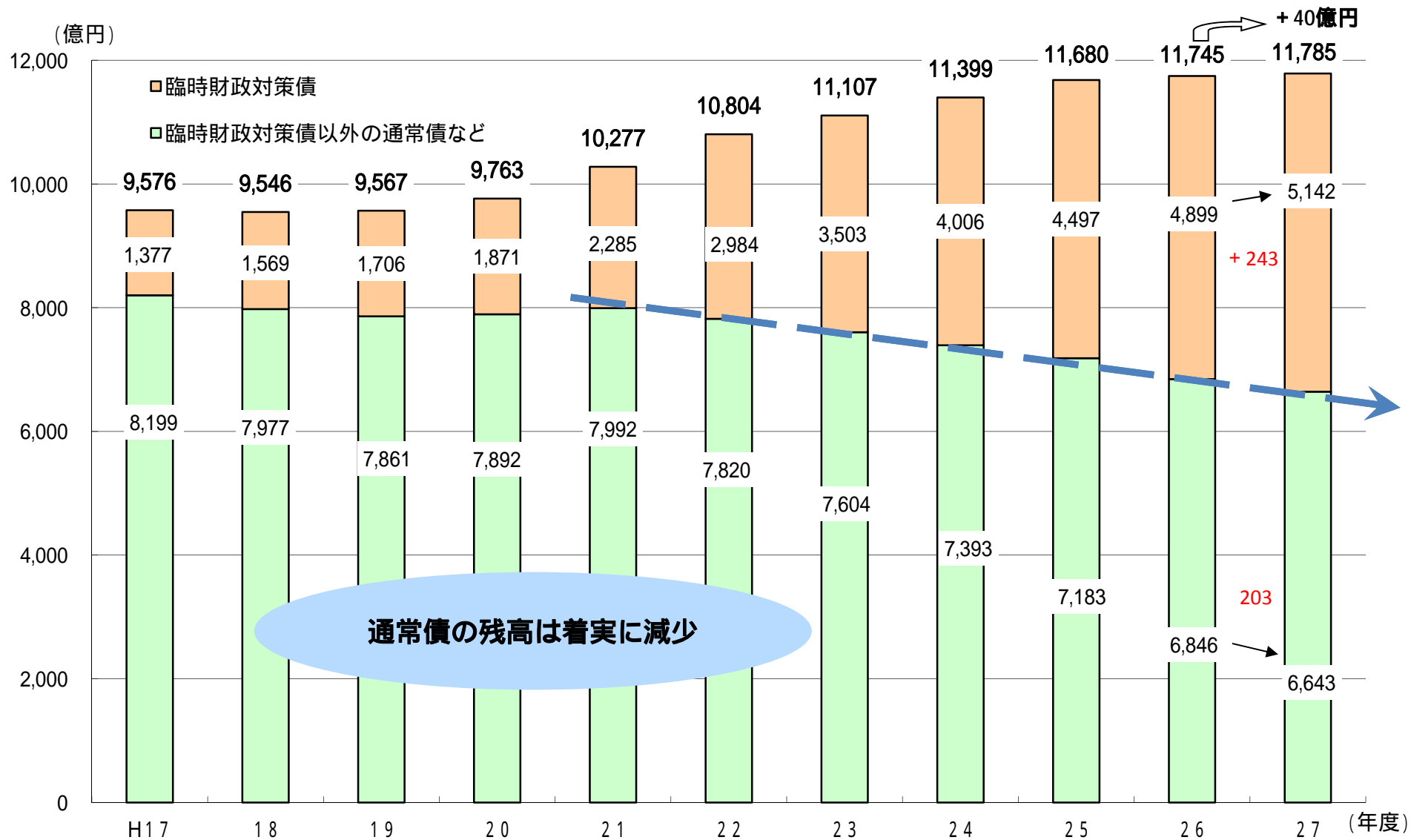
# 県債予算額の推移

(億円)





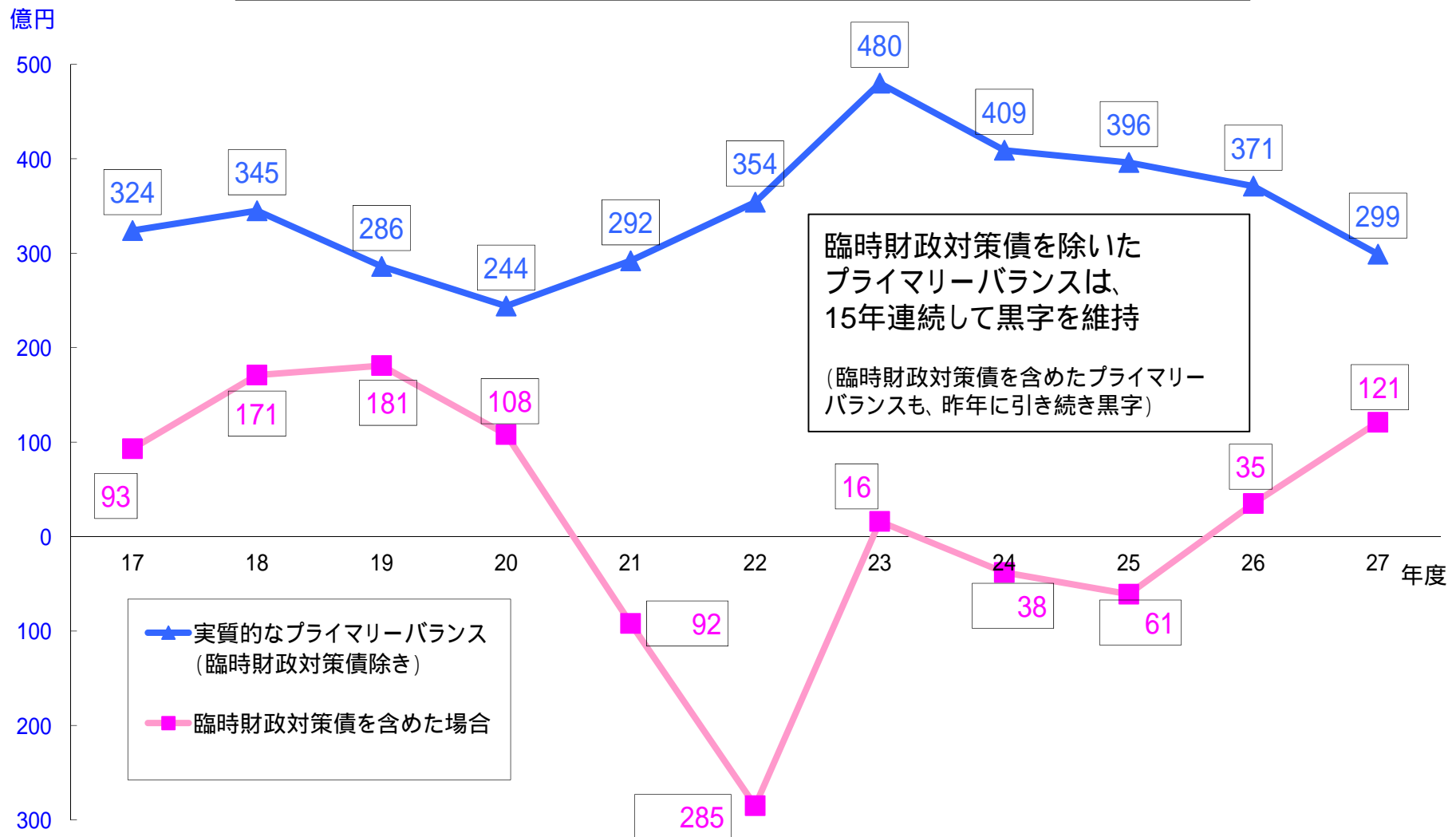
# 県債残高の推移



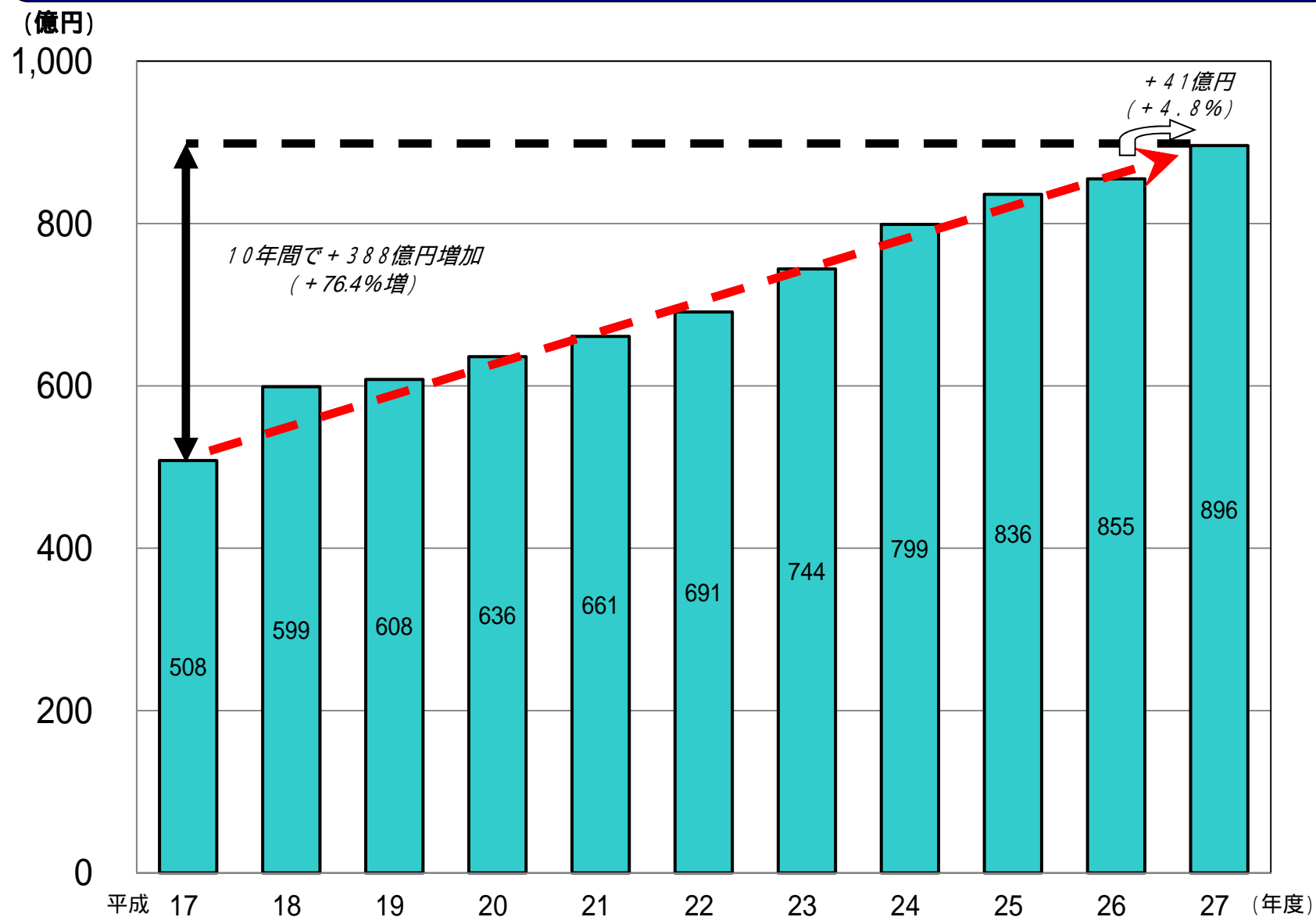
H25年度までは決算、H26年度は2月補正後、H27年度は、当初予算ベース

# プライマリーバランス(当初予算ベース)

(歳入 - 県債) - (歳出 - 公債費)

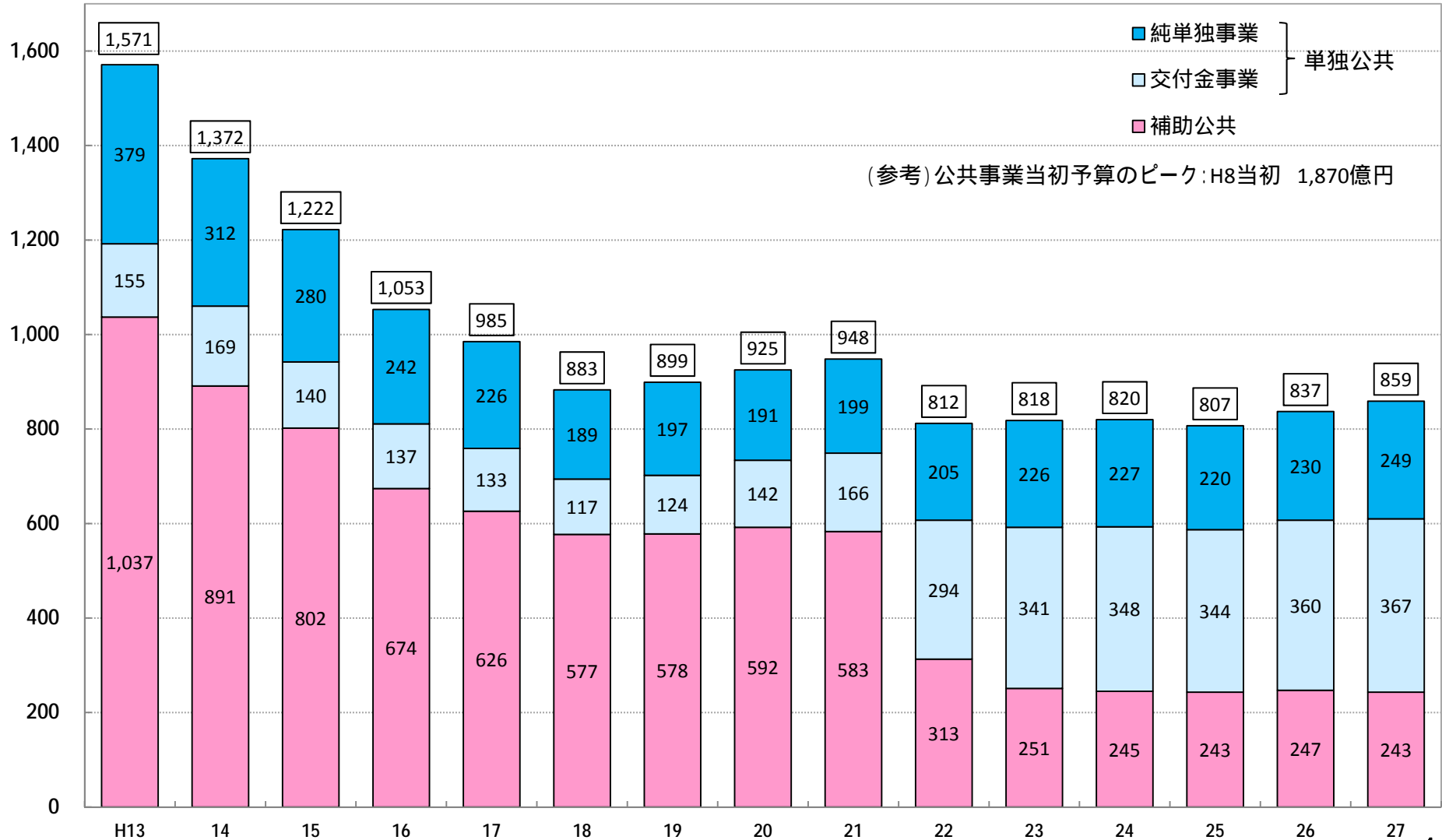


# 主な社会保障関係経費の推移



# 当初予算における公共事業費の推移 (一般会計)

(億円)



# 平成27年度当初予算の重点施策

## 群馬の未来創生に向けての取組

「群馬の未来創生本部(H26年9月設置)」のもと、全庁を挙げて人口減少対策に取り組むための組織体制を整備。

少子化対策や子育て支援、定住促進など、戦略策定に先立ち、先行実施可能な事業を予算化。

### 主な事業

- ・若者就職全力応援(1億3,322万円(2月補正))
- ・(新)第3子以降3歳未満児保育料免除  
(3億2,382万円(2月補正))
- ・ぐんま暮らし支援(1,900万円(2月補正))
- ・次期総合計画及び地方人口ビジョン・総合戦略策定  
(780万円(2月補正))

### 組織改正

- ・人口減少対策に取り組む組織・体制の整備  
(子ども未来局、女性・若者就職支援室、未来創生室の新設など)

## 優れた拠点性を生かした経済の活性化

北陸新幹線の開通を機に、本県の優れた拠点性をより高めるための基盤を整備するとともに、交流人口を増加させ、県内経済の活性化に結びつけていくための取組を推進。

### 主な事業

- ・7つの交通軸を強化する道路整備の推進  
(286億6,795万円)
- ・コンベンション施設整備推進(1億7,350万円)
- ・産業団地整備(35億7,680万円)
- ・企業誘致推進補助金(8億8,300万円)
- ・(新)ぐんま県民マラソン(5,560万円)
- ・ググッとぐんま観光キャンペーン(1,700万円)
- ・(新)地域住民生活等緊急支援交付金(消費喚起・生活支援型)事業(16億8,000万円(2月補正))

# 平成27年度当初予算の重点施策

## 世界遺産の保存活用と絹産業の振興

「富岡製糸場と絹産業遺産群」を将来の世代に確実に引き継ぐとともに、世界遺産登録の効果を観光誘客をはじめとした県内の活性化や、本県に脈々と受け継がれている絹産業の振興に結びつけていく取組を推進。

### 主な事業

- ・構成資産保存事業費補助(1億7,602万円)
- ・(新)世界遺産センター暫定展示(487万円)
- ・(新)世界遺産・ぐんま絹遺産継承推進(1,700万円)
- ・(新)世界遺産を核とした周遊観光(800万円)
- ・(新)蚕糸業継承対策(5,625万円)

## 職業自立など障害者施策の推進

未設置地域の解消に引き続き、特別支援学校の環境整備に取り組むとともに、障害者の職業自立を重点的に推進。

障害の有無にかかわらず、だれもが安心して生活できるよう、障害のある人の住まいや医療の場の整備、社会参加を支援。

### 主な事業

- ・(新)館林特別支援学校改築(5,590万円)
- ・(一部新規)障害者雇用促進強化対策(6,971万円)
- ・特別支援学校職業自立推進(1,635万円)
- ・(新)障害者の地域生活の推進(1,150万円)
- ・障害児者施設整備(5億1,706万円)
- ・障害者リハビリテーションセンター再編整備  
(7億9,625万円)
- ・障害児(者)歯科医療体制整備(3,772万円)
- ・(一部新規)障害者スポーツ振興(650万円)
  
- ・県立の特別支援学校については、地域に根ざした学校運営を充実させるため、H27年4月から、5分校を全て単独校化

# 平成27年度当初予算の重点施策

## 少子化対策・子育て施策の一体的推進

次代を担う子ども・若者を、結婚から出産、育児、教育まで切れ目なく社会全体で支援するとともに、子どもを産みやすく、育てやすい環境づくりを推進。

「こども未来局」を新設し、少子化対策と子育て支援施策を一体的に推進。

### 主な事業

- ・家族形成支援(597万円)
- ・子ども医療費の無料化(39億5,894万円)
- ・子ども・子育て支援新制度  
(市町村保育給付費負担(53億6,025万円))
- ・(新)第3子以降3歳未満児保育料免除  
(3億2,382万円(2月補正))
- ・(新)放課後児童クラブひとり親家庭利用料補助  
(700万円(2月補正))
- ・さくらプラン・わかばプラン(14億80万円)

### 組織改正

- ・健康福祉部に「こども未来局」を新設

## 医療・介護の連携強化

高齢社会を迎え、だれもが安心して老後を迎えられるよう、医療と介護の連携を強化。

地域医療介護総合確保計画の策定、「医療介護局」の新設等により、効率的な医療提供体制や地域包括ケアシステムの構築を推進。

### 主な事業

- ・地域医療介護総合確保基金事業 (50億7,508万円)
  - ・基金造成額 24億4,204万円
  - ・事業化 26億3,168万円(取り崩し)  
(主な基金事業)
    - ・回復期病床等の整備
    - ・在宅医療介護連携窓口の設置
    - ・地域密着型等介護拠点整備、開設準備経費への補助
    - ・医療・介護従事者の確保・養成

### 組織改正

- ・健康福祉部に「医療介護局」「地域包括ケア推進室」を新設

# はばたけ群馬プラン

## 3つの基本目標

- 1 地域を支え、経済・社会活動を  
支える人づくり
- 2 誰もが安全で安心できる暮らしづくり
- 3 恵まれた立地条件を活かした  
産業活力の向上・社会基盤づくり



# 1 地域を支え、経済・社会活動を支える人づくり

## 次代を担う人材づくり

- ・私立学校教育振興費補助(69億9,308万円)
- ・(新)子ども・子育て支援新制度移行支援(6億2,713万円)  
H27年4月から開始される子ども・子育て支援制度において、新制度に移行した私立幼稚園及び施設型給付の実施主体である市町村を支援
- ・家族形成支援(597万円(2月補正))
- ・女性の活躍推進(250万円)
- ・(新)ぐんま県民マラソン(5,560万円)  
ぐんま県民マラソンにフルマラソンを導入し、県民の要望に応えるとともに、県内外の参加者に本県の魅力をアピール
- ・(新)第3子以降3歳未満児保育料免除(3億2,382万円(2月補正))  
子育て世帯の経済的負担を軽減し、人口増加に向けた取組を推進するため、県内全ての第3子以降の3歳未満児の保育料を無料化
- ・(新)館林特別支援学校改築(5,590万円)  
館林特別支援学校の教室不足や老朽化に対応するため、増改築工事を実施。  
県立の特別支援学校については、地域に根ざした学校運営を充実させるため、  
H27年4月から、5分校を全て単独校化
- ・さくらプラン・わかばプラン(14億80万円)
- ・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置  
(2億8,910万円)
- ・(新)県民健康科学大学大学院博士課程設置準備(360万円) など



## 高齢者が活躍できる社会づくり

- ・シニア就業支援センター運営(1,200万円) など

## 群馬の飛躍を支える産業人材育成

- ・離職者等再就職訓練(4億1,874万円)  
中小企業の人材育成や離転職者の就職を支援するため、産業技術専門校が主体となり、女性や正規雇用を目指す若者を対象とした職業訓練を実施
- ・担い手への農地集積・集約化(7億1,709万円)
- ・「はばたけ！ぐんまの担い手」支援(6,600万円(2月補正))
- ・新規就農者確保・就農促進対策(2億3,615万円)
- ・キャリア教育推進(1,545万円(2月補正)) など



## 地域の安心を支える医療・福祉人材の育成・確保

- ・医師確保対策(3億3,889万円)
- ・介護人材確保対策(6,383万円) など

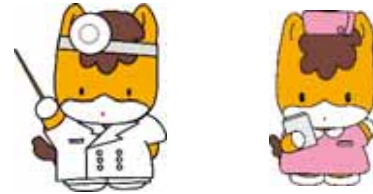
## 人づくりのための仕組みづくり

- ・市民活動支援(7,800万円) など

## 2 誰もが安全で安心できる暮らしづくり

### 「医療先進県ぐんま」の推進

- ・(新)前橋赤十字病院建設事業費補助(8億1,709万円)  
前橋赤十字病院の新築移転に伴い、病院の機能整備に補助
- ・(新)地域医療介護総合確保基金事業(50億7,508万円)  
地域医療総合確保計画を策定し、在宅医療の推進や医師・看護師の確保、介護拠点施設の整備など、医療・介護の総合的な確保を図るための事業を実施
- ・子ども医療費補助(39億5,894万円)
- ・医療産業振興(1,322万円(2月補正))
- ・(新)小児医療センター外来棟増改築工事(7,654万円) など



前橋赤十字病院完成予想図



### 誰もが安心して生活できる福祉の充実

- ・地域包括ケアシステム推進(1,670万円)
- ・老人福祉施設整備費補助(8億1,814万円)
- ・児童虐待対応強化(573万円)
- ・障害者の地域生活の推進(1,150万円)  
施設から地域生活への移行や一般就労への移行の支援など、障害者が安心して地域で生活するための取組を推進

など

## 安全な暮らしの実現

- ・(新)群馬県・市町村被災者生活再建支援制度(1,800万円)  
国の被災者生活支援制度の対象とならない被災者に対し、国の制度と同様の支援を行えるよう、県と市町村が協力し、新たな支援金制度を創設
- ・(新)性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター運営  
(2,021万円)  
性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センターを開設し、被害者に対する相談支援体制を整備
- ・(新)危険ドラッグ対策強化(247万円)
- ・(新)交通安全教育推進(106万円)
- ・警察官の増員(+20人)(4,272万円)
- ・(新)高崎北警察署(仮称)新設整備(762万円)
- ・(新)特殊詐欺対策(2,645万円)  
振り込め詐欺等の特殊詐欺被害の防止対策を実施するとともに、  
検挙活動を強化

など



## 災害に強い県土を築く

- ・(新)大規模商業施設耐震診断費補助(862万円)  
大規模小売店舗を所有する中小企業の耐震診断を支援
- ・災害に強い県土を築く治水・土砂災害対策(100億793万円)  
局地的豪雨や大型化する台風による災害を未然に防止するとともに、被害の軽減を図るため、ハード・ソフト両面から治水対策や土砂災害対策を実施
- ・地域防災拠点校耐震化推進(20億3,122万円)

など



## 誰もが安心して働ける労働・雇用環境づくり

### ・障害者雇用促進強化対策(6,971万円)

障害者就労サポートセンターを中心に、労働局等の関係機関と連携のうえ、特別支援学校の生徒や就労支援機関の利用者等への就労支援などを実施

### ・特別支援学校職業自立推進(1,635万円)

特別支援学校高等部生徒の一般就労率の向上を図るため、就労支援員を増員するほか、「1年生進路ガイダンス」、「企業採用担当者による学校見学会」の実施校を拡充

### ・若者就職全力応援(1億3,322万円(2月補正))

「Gターン倶楽部」を活用し、県内企業訪問バスツアーや合同企業説明会を開催するとともに、ジョブカフェにおいて若者就職支援、県内企業に対するマッチング支援を実施

### ・働く女性の活躍推進(250万円(2月補正))

### ・離職者等再就職訓練(4億1,874万円)

### ・(新) 放課後児童クラブひとり親家庭利用料補助(700万円(2月補正))

放課後児童クラブを利用することで、就労条件改善が見込まれるひとり親家庭を支援

### ・緊急雇用創出等基金事業(8億8,113万円)

若者・女性等の就職促進、人材育成を通じた雇用の拡大と賃金上昇、若手社員の定着支援等在職者の処遇改善事業を実施

など



## 優れた群馬の環境を守り未来に継承する

・住宅用太陽光発電設備導入推進(3億5,000万円)

・尾瀬学校(1億500万円)

群馬の子どもたちが、一度は尾瀬を訪れることができるよう、尾瀬学校を推進し、子どもたちの自然を守る意識や郷土を大切にする心を醸成

・ぐんま緑の県民基金事業(9億1,057万円)

・有害鳥獣対策(6億970万円)

鳥獣被害対策支援センターを中心に、引き続き捕獲対策を強化し、農林漁業者が効果を実感できる対策を推進

・汚水処理施設整備費補助(8億5,463万円)

・八ッ場発電所建設(7億3,704万円)

再生可能エネルギーの導入促進と県内エネルギー自給率向上に寄与するため、八ッ場発電所の建設に着手  
など



## 地域住民の生活を支える「地域力」強化

・ぐんま暮らし支援(1,900万円(2月補正))

首都圏から本県への移住・定住を促進するため、「ぐんまちゃん家」での情報発信の強化に加え、都内に移住相談窓口を設置

・花と緑のクリーン作戦(3,682万円)

・地域調整費(3億7,000万円)

など

# 3 恵まれた立地条件を活かした産業活力の向上・社会基盤づくり

## はばたけ群馬の経済戦略

- ・コンベンション施設整備推進(1億7,350万円)
- ・(新)県産材加工地域拠点施設整備  
(2億5,210万円(当初予算)、2億7,913万円(2月補正))  
地域の林業・木材産業の拠点となる木材加工流通施設の整備を促進
- ・ぐんまの木で家づくり支援(3億2,400万円)
- ・(新)公共施設等県産材活用推進(1,000万円)
- ・(新)蚕糸業継承対策(5,625万円)  
本県蚕糸業の維持・存続に向け、県産繭・生糸の流通促進や市場拡大、  
観光蚕糸業、養蚕担い手の確保対策を推進
- ・(新)ミラノ国際博覧会出展(2,400万円(2月補正))
- ・世界遺産を核とした周遊観光(800万円)  
「富岡製糸場と絹産業遺産群」を核として、観光客の県内全体への周遊を  
促進するため、情報発信等を実施
- ・企業誘致推進補助金(8億8,300万円)
- ・(新)地域住民生活等緊急支援交付金事業  
(消費喚起・生活支援型)(16億8,000万円(2月補正))  
国の交付金を活用し、プレミアム付宿泊券を発行するとともに、群馬県観光  
物産国際協会が開設した県産品通販サイトにおいて割引価格で販売

など



富岡製糸場(富岡市)



田島弥平旧宅(伊勢崎市)



高山社跡(藤岡市)



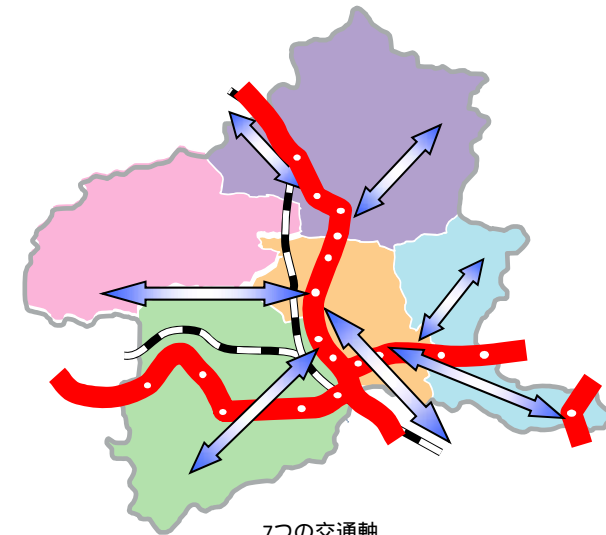
荒船風穴(下仁田町)

## ぐんまのイメージアップ

- ・「ぐんまちゃん」によるイメージアップ(4,306万円)
- ・(新)世界遺産センター暫定展示(487万円)
- ・世界遺産・ぐんま絹遺産継承推進(1,700万円)  
世界遺産及び県内に残る絹遺産の価値を再認識してもらうため、小学校での養蚕体験や中学校での地域における絹の歴史の調査を実施
- ・海外セールスプロモーション(1,240万円(2月補正))  
訪日観光客数が急増しているASEAN等からの誘客をさらに促進するため、セールスプロモーションを実施
- ・上野三碑世界記憶遺産登録推進(624万円) など

## はばたけ群馬の社会基盤づくり

- ・公共事業費予算 859億円(H26当初比+2.6%)
  - ・補助 242億6,997万円(H26当初比 1.9%)
  - ・単独 615億9,003万円(H26当初比+4.5%)
- ・7つの交通軸を強化する道路整備の推進(286億6,795万円)  
県内の高速交通網の効果を最大限に活かすため、高速道路へのアクセス道路となる「7つの交通軸」を重点的に整備
- ・ハッ場ダム関連事業(61億8,529万円)
- ・ステーション整備(1,074万円)
- ・中小私鉄等振興(2億4,237万円) など



ハッ場大橋(H26完成)



# 新たな政策課題に取り組むための主な体制整備

## 1. 群馬の「未来創生」のための体制整備

群馬の「未来創生」に向けて、部局間連携のもと、全庁を挙げて強力的に推進する

### 「未来創生室」の新設（企画部）

群馬の「未来創生」に向け、「群馬の未来創生本部」のもと全庁を挙げて取り組むため、群馬の未来創生本部事務局長である「企画部副部長」を司令塔として、企画部企画課に「未来創生室」を新設し、強力的に推進する

### 「こども未来局」の新設（健康福祉部）

少子化対策から子育て、青少年施策を一体的に推進するため、健康福祉部に「こども未来局」を新設

### 「女性・若者就職支援室」の新設（産業経済部）

女性や若者の就職支援や働きやすい職場環境づくりを更に推進するため、労働政策課内に「女性・若者就職支援室」を新設

## 2. 群馬の「医療・介護」の連携強化

### 「医療介護局」の新設（健康福祉部）

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、医療と介護の更なる連携を強化するための体制を整備

## 3. 群馬の「魅力発信」のための体制整備

### 広報課へ企画課から「ぐんまイメージアップ推進室」を移管（総務部）

県内外の情報発信機能を一元化し、世界遺産を始めとする本県の魅力を強力的に発信

### 「ぐんまブランド推進課」の新設（農政部）

県産農畜産物のブランド力強化や輸出促進、6次産業化等を通じた販売力強化